

令和7年度

# 山口県自動車整備技能競技大会

出場チーム募集！

開催日：令和7年11月22日（土）

会場：（競技）整備研修センター（開閉会式）トラック会館

「大会実施要領」を3ページ以降に掲載していますので  
ご確認ください。



過去の大会の様子

募集最大6チーム（6チームを超える場合は先着6チームとします。）

## 【出場資格】

当会会員事業場で整備作業に従事している1級・  
2級・3級整備士有資格者で事業者の推薦した者  
〔但し、メーカー系列のメインディーラー、サブディーラーに勤務している者及び前回までの全国大会入賞者（総合3位まで）はオープン参加とする。〕

「参加事業場」対象！

事業場負担を考慮し  
参加者1人あたり12,000円サポート

## 【参加申込】

チームでの申し込みとする。 次頁の「大会申込書」をご利用下さい。

## 【申込締切り】

締切日：令和7年7月10日（木）

## 【競技形態】

1チーム2名による競技

## 【競技内容】

（1）学科競技（基礎競技含む） （2）故障診断競技  
※出場チームに対し事前に説明会、競技順番の抽選会を設けます。

## 【表彰】

大会実施要領に基づき表彰

副賞→

優勝

各選手に  
5万円  
の商品券

準優勝

各選手に  
2万円  
の商品券

3位

各選手に  
1万円  
の商品券

## 【その他】

優勝チームは、令和8年開催予定の「第25回全日本自動車整備技能競技大会」の参加チームとして認定します。

問い合わせ先：

山口県自動車整備技能競技大会事務局（振興会企画課）TEL083-924-8123

令和 7 年 月 日

## 令和 7 年度 山口県自動車整備技能競技大会申込書

山口県自動車整備技能競技大会 事務局 行き  
FAX 083-921-2010

申込み事業場名

代表者

(複数事業者でチームを組まれる場合のみご記入下さい。) ↓

※ 申込み事業場名

代表者

	選手 1	選手 2
ふりがな		
氏 名		
事業場名		
整備士資格 記入例：2 級ガソリン		

申込書提出 締切り 令和 7 年 7 月 10 日(木)

(コピーしてご使用下さい。)

# 令和7年度 山口県自動車整備技能競技大会 実施要領

## 1. 目的

自動車整備事業の第一線で活躍している自動車整備士の技能について権威ある適正な評価を行い、技能のより一層の向上を促すとともに職責に誇りと励みを与え、かつ、競技大会を通して整備士相互の連帯交流を強める一方、整備事業の公共性と業界の教育訓練・技能練磨の姿勢を広く社会に示し、業界に対する正しい理解と認識を高め、以って業界の健全な発展と自動車の安全確保及び環境保全に寄与する。

## 2. 主催

(一社)山口県自動車整備振興会 ／ 山口県自動車整備商工組合

## 3. 後援

中国運輸局山口運輸支局 (予定) ／ (一社)日本自動車整備振興会連合会 (予定)

## 4. 協力

県内ディーラー各社 (予定)

## 5. 会場

自動車整備研修センター (故障診断競技会場) ／ トラック会館(学科競技・開閉会式会場)

## 6. 開催日時

令和7年 11月 22日 (土曜日) 9時30分 (予定)

## 7. 競技形態

1チーム2名による競技

## 8. 出場資格

当会会員事業場で整備作業に従事している1級・2級・3級整備士有資格者で所属事業者の推薦した者。ただし、メーカー系列のメインディーラー、サブディーラーに勤務している者及び前回までの全国大会入賞者(総合3位まで)はオープン参加とする。

## 9. 参加申込

チームでの申込とする。

同一支部内、他支部との混成チームも可能。

## 10. 競技内容

(1) 学科競技 (基礎競技含む) (2) 故障診断競技

なお、出場チームに対し事前に説明会、競技順番の抽選会を設ける。

## 11. 競技方法

山口県自動車整備技能競技大会の「競技要領」による。

## 12. 表彰

総合得点で採点し、優勝、準優勝、第三位を決め表彰する。

表彰には山整振会長並びに大会実行委員長名併記の賞状＜認定証＞をそれぞれ授与し、参加各チームには参加賞を授与する。

	優 勝	準 優 勝	第 三 位	特 別 賞	参 加 賞
チーム賞 (予定)	山整振会長表彰状 山口運輸支局長表彰状 日整連会長表彰状及びトロフィー 副賞(個人)	山整振会長表彰状 副賞(個人)	山整振会長表彰状 副賞(個人)	オープン参加 チームを対象 とする	入賞チーム 以外の各チ ームに記念 品を贈呈

### 13. 組織

競技大会実施のための大会実行委員会を設ける。

### 14. 全日本自動車整備技能競技大会への参加

本大会の優勝チームを令和8年開催予定の第25回全日本自動車整備技能競技大会の参加競技チームとして認定する。

なお、補欠を準優勝チームの選手2名とし、上記の認定を得た選手が何らかの事情により出場できない場合は、当該選手に代わる選手を大会実行委員会において選定するものとする。

## 【 競 技 要 領 】

### 1. 競技種目及び方法

#### (1) 種 目

競技は、学科競技（基礎競技含む）、故障診断競技の総合競技とする。

#### (2) 競技形態

① 競技は、チームに分かれて競技を行う。

なお、具体的な方法については締切り日以降に大会実行委員会にて決定。

② 学科競技については、個人競技とする。

③ 故障診断競技については、個人競技とする。

ただし、詳細については大会実行委員会にて決定。

#### (3) 競技内容

##### ○ 学科競技（基礎競技含む）

自動車の構造・機能に関する一般的な知識を審査する競技

自動車の点検・整備に必要となる一般的な知識について審査する競技

##### ○ 故障診断競技

エンジン制御及びボディー電装系統の部位について、故障診断を行う競技

なお、事前に問題の思考時間を設ける。

#### (4) 競技時間

○ 学科競技の時間は、30分とする。

○ 故障診断競技（エンジン制御及びボディー電装系統）は、それぞれ15分、  
合計30分とする。

#### (5) 競技開始

実行委員長より指名された者が、「競技開始」の合図により、競技時間を開始する。また、各競技中の経過時間は、競技終了「3分前」を実行委員長から指名された者が通知する。

#### (6) 競技終了

実行委員長より指名された者が、「競技終了」の合図があったときには、速やかに各競技を終了し、所定の提出書類（問題用紙）を審査員に手渡す。なお、時間内に選手が故障診断競技を終了したときには、審査員に所定の書類（問題用紙）を提出後、競技終了とする。

#### (7) 審査・採点

審査員は、適切な作業が行われたかを採点表、提出書類等で採点する。

### 2. 競技用品・工具測定器等

競技用の用品については、公平を期するため事務局にて用意する。また、競技に伴う工具測定器等については、全て競技会場に準備する。サービスデータ、修理書など抜粋した資料等を事務局で準備する。

### 3. 審査

(1) 審査委員長は大会実行委員長が兼務、故障診断競技の審査員配属数については2名とする。

(2) 競技の総得点は、300点満点とし、配点については、下記のとおりとする。

学科競技	故障診断競技 (※)
(50点+50点)	+ (100点+100点) = 合計300点
<u>(※ ただし、別紙1による作業態度の減点をする)</u>	

### 4. 安全の確保

(1) 競技用品・機器の取扱いについての安全に関する内容は、競技前及び事前説明会で説明し徹底するが、競技時間中にも審査員に説明を受けることができる。

(2) 競技中、安全作業と競技用品の保護に注意して行うが、以下の状況になった場合は競技中止になり、「失格」とします。

- ・競技続行が不可能になるほどの選手の負傷又は、競技用品の破損

### 5. 順位の決定等

(1) 順位確定について総得点が同点のチームが複数ある場合には、故障診断競技の総得点が高い方を上位とし、それでも同点のチームがある場合には、作業態度の減点が少ない方を上位とする。

(2) 競技大会終了後以降に、配点について出場チームから問い合わせがあった場合には、通知するものとする。

## 故障診断競技時の作業態度における 減点項目について

以下の行為があった場合、減点とする。

・ 機器・工具の扱いで危険及び乱雑と思われる行為があった。

(不適切な扱いで機器・工具などが壊れた、機器・工具を直に床に置いたまま別の作業を行うなど)

・ 競技中に選手が応援者から、競技に関するアドバイス(掛け声、指差し、アイコンタクトなど)を受けた。

・ 故障診断競技が競技時間内に終了したにも係わらず、機器・工具等を所定の位置に戻さなかつた。

・ 用意されている「工具、測定器等」以外の「工具、測定器等（時計、電子機器を含む）」を選手が持ち込んだ。

※ なお、同行為を繰り返し行うと減点が加算される。

例) 「機器・工具の扱いで危険及び乱雑と思われる行為」を 5 回行った場合、

減点○○点 (※) × 5 回となる。

(※) 減点の点数は非公表とする。